

## L P ガス C P 情報(2017年3月積み)

### 1. 3月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 480<sup>ドル</sup> (前月比-30<sup>ドル</sup>)

ブタン 600<sup>ドル</sup> (前月比± 0<sup>ドル</sup>)

#### ① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が高値で推移するなか、LPガス暖房需要はピークを過ぎたもののインド、東南アジアなど旺盛な需要がみられ、これに対し産ガス国の減産やモンテベルビュー市況急騰による米国玉のキャンセルなど需給はタイト気味に推移、市況は堅調に推移した。特にブタンはブタジエン需要増もあり売り手が見当たらず下げ渋る展開でプロパン・ブタン格差が拡大した。CP先物は第2週にはプロパン500<sup>ドル</sup>割れ、第3週にはブタン600<sup>ドル</sup>割れ、フレート市況は米国玉のキャンセルや流動性の低下から軟化、極東CFR市況は第4週末にプロパン460<sup>ドル</sup>、ブタン575<sup>ドル</sup>どころに軟化した。

一方、米モンテベルビュープロパンスポット価格(FOB)は、全米プロパン在庫が輸出増と暖房需要増で大幅に減少し高騰したが、月初の478から第4週末には340<sup>ドル</sup>へと軟化。月間平均は408<sup>ドル/トン</sup>、前月比17<sup>ドル</sup>の上昇。

ナフサは原油市況に連れ高、月間平均は517<sup>ドル</sup>、前月比7<sup>ドル</sup>の続伸。バンカーオイルは、原油市況に追随し堅調推移も月間平均で321<sup>ドル</sup>、前月比9<sup>ドル</sup>の下落。

3月CPは前年同月比プロパン190<sup>ドル</sup>、ブタン280<sup>ドル</sup>高。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン10ポイント、ブタン4ポイント低い、前年同月比ではプロパン15ポイント、ブタン1ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	30	27	25	27	27
CP先物指標:P	515	495	475	470	489
CP先物指標:B	600	605	585	590	595

#### ② 原油市況等

WTIは12月53.88<sup>ドル</sup>でスタート、12月のOPEC・非OPECの協調減産合意の遵守を巡り、予想を上回る90%以上の履行が確認され堅調に推移した。ただ、北米のリグ稼働数が急増、2015年11月の水準にまで回復し米国の原油生産量は2016年4月以来の日量900万バレル超に増加、原油在庫は5億1,868万バレルに積み上がり過去最高を更新、順調とみられた協調減産効果が米国の増産に減殺されるとの懸念から原油市況は上値が重い展開となっている。

一方、NYMEXのWTI総取組高は中旬には219万枚超まで増加、大口投機玉の買越残高は1月21日時点で55.7万枚と過去最高を更新している。米株価が最高値を更新しリスク許容度が高まっている。大口投機買建玉は71万枚に達し、売建玉は手仕舞われ15.6万枚に減少。

○2月積みアラビアン・ライト(2月1~24日まで)は54.573<sup>ドル</sup>(前月比+1.484<sup>ドル</sup>)

熱量等価AL100% プロパン447.44<sup>ドル/トン</sup> ブタン441.30<sup>ドル/トン</sup>

AL比 プロパン107.28% ブタン135.96%

\*上記アラビアン・ライトはEIN推計値、確定値は後日、Webサイトでご確認ください。

### 2. 2017年3月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	114.38	56,600	68,600	+1,300	+4,500
26~25日②	114.35	56,600	68,600	+1,500	+4,800
1~31日③	114.14	56,500	68,500	+1,800	+5,100

\*TTS平均について、①が1月21日~2月20日、②は1月26日~2月25日、③は2月1~27日まで、①、②、③ともに3月仕切適用。①、②、③いずれも前月・当月CP50%案分。なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。なお、2017年1月から一部元売プロパン仕切のフォーミュラがモンテベルビュープロパンスポット価格とCPの合成FOBに変更されています。詳細は弊社Webサイトでご確認ください。